

中退金及び特退共の市補助金制度についての参考例

ケース1

●従業員3人分について、それぞれの月額掛金を6,000円でR6年8月に加入した。



令和7年度の市補助金は...  
**対象**です。  
(来年度も受けられます)

〔補助金額〕  
4,000円 (限度額) × 3人 = 12,000円

ケース2

●従業員2人分について、それぞれの月額掛金を4,000円でR7年4月に加入した。



令和7年度の市補助金は...  
**今年是对象外**です。  
(来年度から対象です)

〔理由〕  
R7年1月から12月までの12ヶ月間の掛金を納入した方が対象となるため、今年度は対象外となります。

ケース3

●従業員A,Bの2人分については、R3年1月に月額掛金2,000円で加入し、R4、R5年度に2回補助金を受けている。その後、R6年8月に月額掛金を4,000円に増額した。  
●従業員Cについては、R5年9月に月額掛金4,000円で加入し、R6年度に1回補助金を受けた。



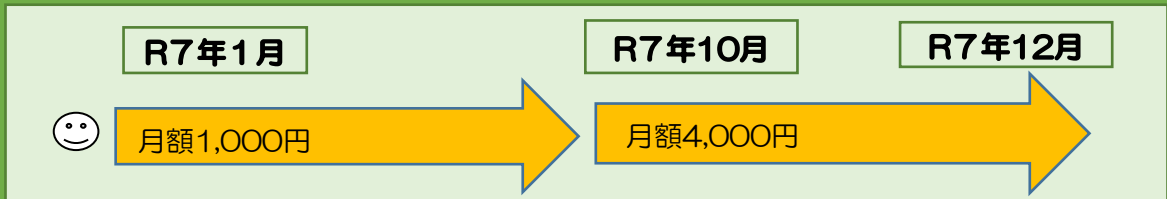
令和7年度の市補助金は...  
**従業員Cのみ対象**です。  
(来年度からは対象外です)

〔理由〕  
従業員A,Bについては過去2回の補助金を受けているので対象外となります。  
※月額掛金を増額した場合であっても、過去2年間の補助金を受けている場合は、対象外となります。

〔補助金額〕 4,000円 (限度額) × 1人 = 4,000円

#### ケース4

●月額掛金を年度途中で変更し、R7.1～9月の間は1,000円、R7.10～12月の間は4,000円とした。



R7.1～12月に収めた掛金の合計を 12で除した金額（千円未満切り捨て） が補助金額になります。

< 補助金額 >

$$(1,000円 \times 9か月) + (4,000 \times 3か月) \div 12 = 1,000円$$

※その他ご不明な点がございましたら、商工振興課(電話36-5517)までご連絡ください。